

国策の万博で未払い問題 ～貢献した労働者を見捨てて、「成功」などと言えるでしょうか？！

未払い問題発生パビリオン

2025
8/3
現在



●大手ゼネコンが絶対間に合わないと言われ、参入を見送る中、吉村知事は「絶対間に合わせる。地元の業者に協力をお願いする」と発言。それに応えた中小の事業者が、昼夜を問わず過労死レベルの工事をして完成させました。ところが、11の海外パビリオンや石のパーゴラがある休憩所建設で、元受けなどが下位の下請け業者に建設代金を支払わず、連鎖倒産の恐れ。多くの労働者と家族が困窮し命の危険さえ生じています。●工事中から様々な問題が発生し、万博協会に訴えてきたにもかかわらず、何の対策も講じられず、事業者の方々は、「万博工事未払い問題被害者の会」を立ち上げ、昨年6月23日、大阪府に救済を求める要望書を出しました。ところが、万博協会の副会長でもある吉村知事は「被害者に寄り添う」と言いながら、『民民の問題だ』と、見捨てるような返答をしました。要望書への回答で紹介された窓口に相談をしましたが、役に立つ支援策は示されないまま・・・ ●吉村知事は「私企業に税金は使えない」と言いながら、カジノ業者のMGM大阪の宣伝に1年で3000万円近く、身勝手な選挙に28億円もの税金を使っています。(未払い被害者の皆さんの被害額はおよそ10億円)

昨年末、被害者の会の皆さんの尋常ではない努力により、国も「民民の問題ではない」と認識し、ようやく、超党派(立憲民主・日本共産党・れいわ新選組・減税保守子ども)の議員が救済法案「大阪・関西万博特措法改正案」を提出しました。しかし、許せないことに、衆議院解散により廃案にされてしまいました。けれども諦めず再提出に向け、国会議員に要請しています。今度こそぜひ成立させましょう！

…つぎつぎ発覚する問題…責任は？

- ◆「労働基準法」「労働安全基準法」「人権」無視の現場。汚染土壌や有害ガスについても知らされず、防御対策もなし。
- ◆建設工事を請け負うには、必ず許可がいるが、その審査を短縮簡略したため不適切業者や無許可業者の参入を招いた。許可を出す責任者は知事。
- ◆「未払い被害者のため返済の見込みがたたない」として、銀行の融資も受けられず。
- ◆万博協会は全くサポートせず、無秩序な建設計画と理不尽な規制で工事をさらに困難にした。
- ◆パビリオンなど、万博会場で働く労働者への賃金不払やパワハラも発覚。
- ◆解体事業者からも未払いの懸念の声が上がり、万博協会に上申書が出された。
- ◆4か国もの未払いを発生させた「GL イベントズ」(本社フランス)は、被害者から提訴されて裁判中にもかかわらず、来年の「アジア競技大会」の会場設営などを630億円で契約。2027年横浜で開催予定の「国際園芸博覧会」も受注している。

私たちは、極度の軟弱地盤の上に水はけが非常に悪い夢洲で、爆発の危険があるメタンガスや一酸化炭素・硫化水素・アンモニアなどの有毒ガスやPCBなどの有害物質を含む粉塵にさらされて仕事をする建設労働者の皆さんの健康被害を懸念し、万博協会などに訴えてきました。この未払い問題は、命に係わる喫緊の問題として、見過ごすわけにはいかなないと考えています。

ぜひ、裏面の、「万博工事未払い問題被害者の会」の皆さんの訴えを讀んで、支援のカンパと署名、救済法案成立の取り組みにご協力をお願いいたします!!

夢洲カジノを止める大阪府民の会 <https://vosakaf.net/>
〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2-103
山川よしやす(事務局長) 電話 090-8536-3170



当会 HP



当会 FB



当会 X



「命輝く未来社会のデザイン」のテーマのもと、多くの人々が笑顔で来場した陰で、そのパビリオンを懸命に作った労働者の命と尊厳が踏みにじられている・・・